

認定留学報告書 [Würzburg]

1. 出発前にしておくべきこと

① City Bank の開設

City Bank という銀行で口座を開設しておけば、日本から入れたお金(円)をドイツでユーロとしておろすことが出来る。こうしておけば、1年分のお金を一気に手持ちで持って留学に行かなくてもよくなり、便利。

② 海外の健康保険に加入

私の場合は東京海上日動さんで健康保険に加入した。日本で入っておけば、その証明書をもってドイツで健康保険に入る必要はなくなる。

③ Tutor(チューター)とコンタクトを取る

チューターとは、留学生としてやってきた人たちを様々な面からサポートする人たちのことを言う。Universität Würzburg(ヴュルツブルク大学)のホームページから留学生用のサイトへアクセスをすると、留学生サポートとしてチューターさんの一覧が出てくる。私はそこから日本語が話せる人を探してその人と定期的にコンタクトを取っていた。実際、Würzburg に到着した当日にそのチューターさんが迎えに来てくれて町の案内や手続きの手伝いなど、いろいろとお世話になり助かった。留学へ行く前からチューターさんとは連絡を取っておいた方がよい。

http://www.international.uni-wuerzburg.de/studium_in_wuerzburg/tutoren_begleitservice_und_hilfe_fuer_studierende_und_wissenschaftler/

2. 到着後の手続き

① 健康保険

半年以上ドイツに滞在の場合は AOK という健康保険会社で海外保険に入る必要がある。ただし日本ですでに海外の健康保険に入ってきた場合は入らなくてもよい。その場合は、日本で入ってきたという証明書を AOK で提示し、そこで“AOK には入らなくても大丈夫である”という、海外保険証の代わりにする証明書をもらう必要がある。

② 住民登録

Rathaus(市役所)にて手続きを行う。パスポートと住所が記載された紙を提出し、

その場ですぐに登録することができる。Würzburg の場合は、この時点でまだ居住先が見つかっていないという人が多く、彼らはチューターさんの住所を借りるなどして登録を行っている。家が見つかった後にその新しい住所に登録し直す。住民登録証はその他の手続き等、いろいろな場面で必要となってくるので早い段階での手続きが必要。

③ VISA 申請

ドイツに留学の場合は、日本ではなく現地でビザを発行してもらわなくてはならない。これを貰うまでに何度も Rathaus(市役所)に通わなければならない、これが最も時間と手間のかかる手続き。ビザを申請する際に必要なものは ビザの申請書、海外保険証、学籍登録証明書、資金証明書(600€以上)、パスポート、顔写真、ヴェルツ大学への入学許可証、そして現金 100€である。これらをすべて Rathaus に提出。証明書等はすべて原本ではなくコピーして提出するため、海外保険証や入学許可証など、日本にいるうちから出来るものはすべて日本で何枚かコピーして持ってきておくと便利。

④ 銀行口座の開設

Deutsche Bank にて口座を開設する。この時に提示するものはパスポートと住民証、ヴェルツ大学への入学許可証。こちらも提示するものをすべて用意した状態で訪れればその場ですぐに開設できる。

⑤ プリペイド携帯

Würzburg に到着したらすぐにプリペイド携帯を購入した。なかなか wi-fi があるところがなく、日本から持ってきた携帯が使えるということがないため、現地で人と連絡を取るときはプリペイド携帯がなければ難しい。これを購入する際もパスポートと住民証の提示が必要。

3. 家探し

Würzburg は他の町と比べて比較的 WG や寮を探すのに苦労する。留学をしてから 2 か月経過後もまだ見つからない、という話はよくあること。日本にいる早いうちから寮の申し込みをしておいたり気になる WG を見つけてはコンタクトを取っておかないと、長い間住むところが見つからない状態が続く可能性が出てくるので要注意。(ちなみに見つからない間はドイツの友人宅に泊まらせてもらうかユースホステル暮らしをするなどしなければならない)

Studentenwohnheim(学生寮) :

<http://www.studentenwerk-wuerzburg.de/wuerzburg/wohnheime.html>

WG :

<http://www.wg-gesucht.de/wg-zimmer-in-Wuerzburg.141.0.1.0.html>

4. Stammtisch

Würzburg では毎週の木曜日に Stammtisch という、日本に興味のあるドイツ人と日本人との交流会のようなものが Cafe Klug というカフェで行われる。いわゆる飲み会。ここで多くの日本人がドイツ人の友達ができ、彼らとホームパーティをしたり一緒にイベントに参加するようになる。また、ここで Tandem(タンデム)を作り、そのタンデムパートナーと頻繁に会ってドイツ語の勉強をするなど、より多くドイツ語に触れドイツ語が伸びる機会を得ることもできる。留学に来て初めの頃は、とにかく毎週この Stammtisch に行くことをお勧めする。